

各代議員から発言



博多 香田代議員

○組織拡大について

若い人たちが上司とトラブルになって職場が面白くないという人が増えていく。しかし、何を言っても会社は変わらないし、しようがないで終わってしまった。この事を残念に思っている。何とかこの状況を変えたいと思う。その為に若い力をバージョンアップし訴えてきた。国労の入って良かったと思うが学習の機会が少ないなど一部不満もある。若手や相手を説得する時どうしても学習が必要だと思ふ。是非、九州本部でそうした学習会を計画して欲しい。そしてその中身、やり方の検討もお願いしたい。みなさんにも限りある時間で組織拡大に全力を挙げてほしい。



長崎 荒木代議員

○嘱託再雇用問題について、賃金、労働条件の改善をお願いしたい。またJR各社において格差が大きくなっていく。格差解消をどうかして欲しい。

○JR九州の特別警戒で車の腕章をさせているがいつまでさせるのか。何故、車掌・駅だけなのか、交渉はどうであったのか明らかにされたい。

○全国大会で被対協カンパがはつきりしていない、どうなったのか。



佐賀 久本代議員

○8月21日からの豪雨により組合員や組合事務所も被害を受けた。今日の大会に参加できない組合員もいることを報告したい。

○嘱託再雇用問題では、同じ仕事をして、賃金は大幅な減額に納得出来ない。唐津運輸センターは、電車組は長時間行路できなくて、動車組へと希望している状態がある、労働条件の改善を。

○組織拡大について 組合員の減少を何とかしたい。未加入や関連プロパー社員の若手を中心とした拡大を計画していきたい。



北九 島山代議員

○日田彦山線問題について過去の日田彦山線被害については、すぐに復旧してきて経緯がある。今日の田村議員からも被害費用が相当圧縮されることが明らかとなった。住民も鉄道で残してほしいと言っている。鉄道での復旧で九州本部も頑張りたい。

○JAL不採用問題について 解雇されて9年目となる。ようやく昨年の株主総会で社長が解決に向け努力

すると約束しながら、進展していない。しかし重大な解決局面にある事は違いない。国労はJR不採用問題で様々な支援を受け解決してきた。この重要な時期に国労としての支援を行うべきだ。

○再雇用問題について 是非、労働条件の改善をお願いしたい。また、ハーフタイム制の導入など、他会社の良い所をみない改善をお願いしたい。又その時の人工をどうするか。一人工で見た場合、職場では迷惑という意見がある。



北九 福崎代議員

○日田彦山線問題は直方の受け持ち線区でもあるが、そこで働く人からも赤字だから廃止は仕方がないという意見が出ている。しかし、安定基金から支援金をもらい、ローカル線は守ると約束してきた経緯がある。災害がおき被災している地域から1、6億円を毎年支出せよと言

うのは全くおかしいと思ふ。鉄道で復旧するよう九州本部も頑張るほしい。○運転士の24H行路については、運転士からすると何のメリットもないと思う。国労として態度を明確にして欲しい。

○60歳以降のハーフタイム制の導入について、他労組の人からも強く発言してくれと頼まれてきた。体力的に厳しいが、ハーフなら残れるとのことであった。実現にむけ奮闘を。

○国労加入して1年となるが、平和問題や権利問題など学習することができた。もっと早く加入すればよかったと思う。若い人の拡大に向け奮闘したい。



鹿児島 黒木代議員

○組織拡大には分会活動が原点と方針にあるが、組合員は点在して実態は厳しい状況である。しかし国労を残すというためにも拡大